

■ 長居公園5年評価

評価項目	評価の視点	評価	評価内容
質の高い公園の管理運営	植栽の管理		
	一般園地	B	長居公園の景観特性、植物の植生や生育状況を踏まえながら、持続可能な植栽の管理（維持・保全・育成）がなされているか。また、花壇等の花卉類においても、四季ごとの彩りを演出するなど、適正に管理できているか。
	長居植物園	B+	長居植物園では、自然史博物館や花と緑と自然の情報センターが併設され自然やみどりを学べる公園という長居公園の特性やその存在意義を踏まえた適正な展示植物の栽培、管理（維持・種の保存・育成）がなされているか。
施設の管理	長居公園地下駐車場 長居公園南駐車場 長居公園中央駐車場	B	駐車機器のオンライン化や駐車場の空き情報の発信、クレジットカード決済の導入、法人カード決済の導入を推進し、利用者のサービス向上に取り組んでいた。また、コンサートやイベント等の大規模イベント時には誘導警備員による利用者の車両誘導を実施し、路上駐車や渋滞の緩和に取り組んでいた。
	長居ユースホステル	B	新型コロナウイルスの影響が令和5年5月に感染症法上の5類感染症に位置づけられるまで続き、宿泊利用者数の回復が予想を下回る中で、現状を打破するべく、設置目的の達成をめざし、利用者確保と施設の有効利用のため、さまざまな取り組みを実施しており、その姿勢については評価できる。スタジアムで開催されるイベントとのセットプランなど宿泊場所としての付加価値を高める取組の実施やセレッソ大阪スポーツクラブのスクールコーチの指導やヤンマースタジアム長居でサッカーキャンプを毎年実施するなど、スタジアムの中にあるユースホステルという特徴を生かす取組を実施していた。また、長居公園内にある植物園や自然史博物館とのコラボ企画の実施や施設を活用して地域住民がヨガや卓球を楽しめる講座、近隣のこどもたちを対象に工作や科学実験、クッキングなどを体験できる月1回の「集まれ！長居キッズ」の開催など地域住民に親しみを持ってもらう工夫を行っていた。学校団体や学生団体のスポーツや音楽等の合宿の誘致、検索エンジン上位にヒットするようSEO対策を行ったほか、満室にならない日にベッド数を細かくオンライン予約に開放するなど宿泊利用者の獲得に対して積極的に取り組んでいた。
	その他施設	B	仕様書に基づいた管理を基本とし、漏水の有無、時計の時刻、サイン、遊具やその他の公園施設、電気設備等の点検及び修繕、施設の適正利用の指導について、概ね適切に実施していた。また、公園内のランニングコースや園路の舗装段差や水たまりについても巡視点検を行い、長居公園でスポーツを楽しむ利用者の安全確保に努めており、長居公園のコンセプトを踏まえた管理がなされていた。花と緑と自然の情報センターでは緑化普及啓発を目的として令和3年から令和6年までの間に365回の植物についての講習会と計17,495件の緑化相談を実施しており、施設の特性・意義を踏まえた適正な管理運営がなされていた。
利用促進	長居公園のコンセプトや子どもから高齢者まで幅広い世代の方がスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる公園という長居公園の特性を踏まえた取り組みがなされているか。また、利用者や近隣住民の意見を把握し、市民に親しまれる一般園地施設や長居植物園、長居ユースホステル、長居地下駐車場、長居公園南駐車場、長居公園中央駐車場の有料施設のあり方を検証しながら、多くの市民が公平かつ平等に公園を利用できるよう利用促進に努めているか。	B	令和4年7月に長居公園のホームページをリニューアルし、X（旧Twitter）のフォロワー数は令和3年度から令和6年度までで2,369人から5,488人に増加、Instagramにおいては令和3年度から令和6年度までで767人から8,388人に増加した。新施設グランドオープンの際には各テナントと連携したスタンプラリーの開催や、テレビや新聞への露出によって子どもから高齢者までの幅広い世代に向けて長居公園の魅力を発信することで利用促進に努めていた。また、植物園へスムーズに入場いただけるよう植物園北東入口に電子チケットで入場できる無人ゲートを設置し、利便性向上に努めた。長居公園内の案内サインのデザインを統一し、利用者が見やすいよう改修を行い、南西出入口には大型のデジタルサイネージを設置し、イベント情報等を発信することで長居公園の利用促進に努めていた。
安全管理	利用者が安全・安心に利用できるよう、日常的に事故防止、防犯、救急等の対策が適切に行われているか。また、非日常の安全管理においても、緊急時の連絡体制の構築、防災訓練の実施等、災害等の発生時に迅速に対応するための対策が適切に行われているか。	B	東住吉警察署と夜間合同パトロールを実施し、公園利用者や周辺住民への迷惑行為について注意指導を行っており公園全体における安全確保に配慮した管理運営に努めていた。年2回以上の防災訓練を実施し、災害発生時においても適切な対応をとるための取り組みを行っていた。
人材等の適正配置	管理対象施設の維持・管理の知識・経験を有した人員を、適切に配置しているか。	B	各施設に経験・実績のある施設責任者を配置するなど、監督責任体制が確保されており、適正に人員が配置されていた。また、長居植物園及び花と緑と自然の情報センター、その他の施設においても施設の特性上必要となる資格・実績を有する人材を適正に配置していた。
市民等との協働・連携	市民及び周辺の各団体との協働、市民参画の取組等が継続的に行われているか。	B+	長居公園をより良い公園にしていくための助言を得る場として、地元町会、教育関係者（小学校）、長居公園内施設、大阪市（東住吉区役所）、大阪商工会議所、セレッソ大阪、地元企業等からなる「長居パークプラットフォーム運営委員会」を立ち上げ、意見交換を行っていた。プラットフォームから精神障がい者サッカー教室、長居小学校生徒によるスケートボード場の見学、スタジアムぼんおどり等の企画が実現しており、市民等との協働・連携の取組に努めていた。その他、地域連合町会との公園周辺清掃の定期的な実施や、地元有志を中心とした「NAGAI 森の駅マルシェ」の開催、継続した植物園ボランティア活動の実施、近鉄針中野駅と長居公園をつなぐ地域活性化プロジェクトへの参画、東住吉区役所と連携した「のびのび・ワクワクスタンプラリー」や「子ども110番運動」の実施など様々な団体との協働・連携、市民参画の取組を行っており、評価できる。

	施設間の相互連携	一般園地や長居植物園等の建設局所管施設、経済戦略局所管のスポーツ施設、こども青少年局所管のユースホテル、さらには長居公園内の別の事業者が管理する施設との間で、相互に情報共有、連携を図り、公園利用者等の利便に配慮した円滑な施設運営ができていますか。	B	大阪市立自然史博物館と連携した開園50周年記念事業の実施や自然史博物館主催の特別展「毒展」に合わせ長居公園内テナントでの毒にちなんだ紫色のコラボドリンク、フードを提供する等、公園内の各施設における連携に取り組んでいた。また、大阪市長居障がい者スポーツセンターやその他施設と連携し、長居陸上競技場を精神障がい者フットサル教室の場やスタジアムばんおどりの開催地として提供する等、利用者の利便の向上にも取り組んでいた。その他、天王寺動物園と連携した「天王寺動物園×長居植物園スタンプラリー」の実施や六甲高山植物園と連携した連続テレビ小説「らんまん」を契機とした相互PRを実施する等、公園外の施設との連携にも努めていた。
	利用者の意見反映	利用者満足度の把握や市民の意見反映に取り組んでいるか。	A	各施設において毎年、満足度把握のための利用者アンケートを実施し、毎月1回の「長居公園禁止行為対策会議」により、公園利用者からの要望、苦情、トラブルなどの対応、対策の検討を実施していた。特に公園利用者からの苦情が多かったスケートボードの対策として令和4年にスケートボードパークを設置し、地元スケーターと協力し利用者とのコミュニケーションやマナー向上を図ることで最高1,382件であった月のスケートボードへの苦情が約20件程度となっており長居公園の新たな魅力を生み出していた。また、公園利用者や市民の意見、要望を踏まえイベント時の騒音対策として防音壁追加の措置を講じることや一部和式トイレの洋式化、長居ユースホテルのシャワー器具の交換、浴室脱衣所の空調更新、集会室の備品の更新、長居庭球場のコートの変更、長居公園中央駐車場及び地下駐車場の渋滞緩和のため、大規模イベント時には誘導警備員を配置する等、公園や公園内の施設利用者及び市民の意見反映に取り組んでおり、大変評価できる。
	項目評価		B+	植栽や公園施設においては管理運営水準及び仕様書に沿った維持管理を行っており、概ね水準に達する管理状況であった。長居植物園等、公園内の各施設においても適正な管理運営がなされており、評価できる。また、毎年実施している利用者アンケートを通じて苦情、要望への対応を実施していた。さらに、地元町会や地元教育機関と連携した「長居パークプラットフォーム運営委員会」の運営や長居公園内外の施設との連携等を行うことで公園利用者の意見反映、市民協働・市民参画を踏まえた管理がなされており、評価できる。今後も引き続き、公園の利用者のみならず周辺住民の意見を反映した公園の管理運営に取り組まれている。
評価項目		評価の視点	評価	評価内容
質の高いスポーツ施設の管理運営	施設の管理	長居公園のコンセプトを踏まえた管理がなされているか。また、スポーツ施設を清潔に保ち、利用者が安全・安心して利用できるような点検や修繕管理、利用者へのサービス提供、適正利用の指導等といった管理が適切に行われているか。	B	維持管理方針および維持管理業務仕様書に基づき、日常的な清掃・点検やメンテナンスを行っている。陸上競技場では、和式トイレの洋式化やトイレ扉の塗装を実施した。また、イベント終了後のごみの散乱を防ぐため、大会主催者への注意喚起に加え、競技会翌日の清掃の強化を行った。各施設のスポーツ備品の点検・修繕を適切に行い、利用者が安心安全に使える状態を維持できている。
	利用促進	利用者や近隣住民の意見を把握し、市民に親しまれる長居運動場、長居陸上競技場、長居第2陸上競技場、長居庭球場、長居相撲場、長居プールのスポーツ施設のあり方を検証しながら、多くの市民が公平かつ平等に公園を利用できるよう利用促進に努めているか。	B+	トレーニングセンターへの新たな動的ストレッチマシン6種類の導入や、パーペル・プレート類の入れ替えを行ったことで、多様なトレーニングニーズに対応できている。SNSでの情報発信を強化したことで、フォロー数が約1.2倍に増加しており、施設利用の促進に努められている。プールの火曜日臨時開館など、市民利用の機会の創出にも取り組んでいる。
	安全管理	利用者が安全・安心に利用できるような、日常的に事故防止、防犯、救急等の対策が適切に行われているか。また、非日常の安全管理においても、緊急時の連絡体制の構築、防災訓練の実施等、災害等の発生時に迅速に対応するための対策が適切に行われているか。	B	競技会（主に第2陸上競技場）時の盗難について、主催者や東住吉警察と連携し、巡回警備の強化、競技会参加者への注意喚起（口頭・電光掲示板への掲示等）を実施することで、防犯に努めている。消防・防災訓練やAED研修を随時実施し、スタッフの教育にも積極的に取り組んでいる。
	人材等の適正配置	管理対象施設の維持・管理の知識・経験を有した人員を、適切に配置しているか。	B	各施設に施設責任者、防火管理者を配置、監督責任体制が確保されている。また、障がい者スポーツ指導員や水上安全法救助員の資格を有する人材を配置し、施設の特性に合わせた適正な人材配置をしている。またCPR・AED訓練を随時実施しスタッフの対応力強化も実施している。
	市民等との協働・連携	市民及び周辺の各団体との協働、市民参画の取組等が継続的に行われているか。	B+	地元町会、教育関係者、長居公園内施設、行政（東住吉区）、大阪商工会議所、セレッソ大阪や地元企業で組織される「長居パークプラットフォーム運営委員会」の「スポーツ部会」を月1回程度開催することで、利用者のWell-beingの実現を推進している。その一環として、大阪市長居障がい者スポーツセンターと連携し、精神障がい者向けサッカー教室の開催にあたって陸上競技場を提供する等、市民参画に取り組んでいる。
	施設間の相互連携	一般園地や長居植物園等の建設局所管施設、経済戦略局所管のスポーツ施設、こども青少年局所管のユースホテル、さらには長居公園内の別の事業者が管理する施設との間で、相互に情報共有、連携を図り、公園利用者等の利便に配慮した円滑な施設運営ができていますか。	B	植物園においてテニス体験や体力測定、スポーツ施設において季節の花の鉢植え展示、セレッソのホームゲーム開催日に植物園からサポーターへ苗のプレゼント、長居公園出店テナントと連動したキャンペーン（店舗紹介やチラシ配布）を実施する等、複数施設運営を活かした広報や施設間の相互連携ができています。
	利用者の意見反映	利用者満足度の把握や市民の意見反映に取り組んでいるか。	B+	利用者アンケートや利用者満足度の調査により、施設利用者の意見を把握している。トレーニング場については、キャッシュレス化の要望を受けてQRコードやクレジットカード決済の導入した。また、混雑に関する要望を受けて、曜日・時間別の混雑状況のリアルタイム表示をホームページ上で実施する等、利用者からの意見反映、改善行動に取り組んでいる。
	項目評価		B	各施設毎に点検・修繕を適切に行い、利用者が安心安全に使えるよう日常管理が概ね適切に行われている。また、必要に応じた研修・訓練の実施により利用者の安全確保に積極的に努めており、評価できる。今後も利用促進に関する取組を充実させ、更なる施設の魅力向上、利用率の向上を目指したい。

	評価項目	評価の視点	評価	評価内容
長居公園のポテンシャルを活かした魅力向上	既存施設の魅力向上及び利活用			
	長居植物園	自然やみどりを学べる公園という長居公園の特性やその存在意義を踏まえながら、魅力的な植物展示や来館者への魅力の発信、サービス向上を図るための取組みがなされているか。	A	次の世代へつなぐ「未来への種まき」として、令和3年11月から令和4年3月にかけて長居植物園のラクウショウ、サルズベリ、ツバキ園、ライフガーデン、バラ園、ボタン園、カビラリス園、二次林、里山ひろば、アジサイ園、池の浄化、水辺の散歩道、シダレザクラ移植等の再整備工事を実施した。拡充したライフガーデンでは季節ごとにネモフィラやヒマワリを植栽し、没入感のある一面の花畑として長居植物園の魅力向上に寄与していた。リニューアルオープンを実施した令和4年度では歴代最多来園者数の約78万人を記録し、さらに令和5年には約83万人の来園者数を記録した。また、「チームラボ」による長居植物園の自然を活かしたひかりのアート群「チームラボがタニカルガーデン大阪」を令和4年7月にオープンし、令和4年度には約37万人、令和5年度には約42万人、令和6年度には約32万人の来場があり、夜間のアート鑑賞から昼間の植物園への波及効果を図っていた。令和4年4月には公式ホームページにおいて、長居植物園のオリジナル樹名札からQRコードを使ってアクセスできる植物図鑑を構築し、長居植物園の魅力の発信、サービス向上に努めていた。令和6年には自然と人がつながる共生のシンボルとして「グラウンディングツリー」を里山ひろばに設置するなど、長居植物園の魅力向上に積極的に取り組んでおり、大変評価できる。
	その他一般園地エリア	その他一般園地エリアにおいて、既存ストックを有効に活用し、公園利用者のサービス向上を図るための取組みがなされているか。	B+	令和4年7月には魅力向上を図るための工事として長居公園南西のエントランス広場の噴水やベンチ、フラッグポールを整備し、長居公園のメインエントランスであるエントランス広場のサービス向上に取り組んでいた。令和4年8月には植物園北西園地に栽培体験のできる施設「わくわくファーム」を設置し、農作物の育成を通じた体験学習型プログラム（農作業の体験、大阪の食文化の学習、なにわ伝統野菜の栽培・収穫・調理・試食体験）を実施していた。また、長居公園内で日常的にアートに触れる機会をつくるため、植物園「花」フォトコンテストや長居陸上競技場で演劇イベントを実施し、長居第2陸上競技場の倉庫壁面にミューラルアートを設置する等、長居公園の魅力向上に取り組んでおり、評価できる。
スポーツ施設	長居公園のコンセプトを踏まえた取組みがなされているか。また、スポーツ施設の利用者にとって、利便性や施設のサービス向上に資するものか。	B	トレーニングセンターへの新たな動的ストレッチマシン6種類の導入や、パーペル・プレート類の入れ替えを行ったことで、多様なトレーニングニーズに対応できていた。利用者数も年々増加しており、施設利用を促進できていると言える。プールでは火曜日を臨時開館するなど、市民利用の機会の創出にも取り組んでおり、スポーツを通じた生活の質の向上と健康長寿への取組を実践することができていた。	
新たな公園施設の設置及び管理運営	新たな公園施設の設置及び管理運営			
	収益施設の設置及び管理運営	長居公園の魅力向上させ、新たな賑わいを創出し、公園利用者のサービス向上に供するものとなっているか。また、長居公園のコンセプトに沿ったものとなっているか。	A	令和4年7月には魅力向上事業として公園南西エントランス広場にヤンマーならではののお米や野菜を用いた料理を提供する「YANMAR MARCHE NAGAI」、自家焙煎珈琲を楽しむことのできる「桜珈琲」、多彩なスイーツを取り扱う「confiteria S」の3店舗をオープンし、長居公園の南西エントランス広場のにぎわいを創出していた。また、令和4年7月オープンの有料の樹上アスレチック施設やトランポリン、無料で利用できる遊具などが設置されており、大人から子供まで幅広く楽しむことができるアスレチック施設「ポウケンノモリ NAGAI」では令和6年より夜間営業を導入し、多様な時間帯の活用による利用者サービスの向上を図っていた。南広場では、野菜や果物、食品を販売し、店内のイートインスペースで食事やカフェをすることもできる「OSSO MARKET&KITCHEN」のオープンしたほか、シャワー・ロッカールームを完備した管理棟併設のフットサルコート「CEREZO FUTSAL PARK NAGAI」をオープンし、長居公園の魅力向上させ、新たな賑わい創出に取り組んでおり、大変評価できる。
その他施設の設置及び管理運営	長居公園の魅力向上させ、新たな賑わいを創出し、公園利用者のサービス向上に供するものとなっているか。また、長居公園のコンセプトに沿ったものとなっているか。	B+	令和4年に相撲場を移設し、旧相撲場跡地に芝生を敷いた中央広場の整備を実施した。また、令和4年4月にオープンした「タイガーラックスケートボードパーク長居」では初心者向けのオープンスペースや階段、アール等様々なセクションを設置し、プロスケーターを招いたイベント、協議会等を開催している。また、令和6年度には「みどりの再興プロジェクト」北西エントランスのヨドコウ桜スタジアムへ繋がる動線の整備を実施し、長居公園の魅力向上にむけており、評価できる。	
新たな賑わいづくり事業	新たな賑わいづくり事業			
	新たな賑わいを創出するイベント及びソフト事業等の実施	公園全体において、長居公園のコンセプトや子どもから高齢者まで幅広い世代の方がスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる公園という長居公園の特性を踏まえた取組みがなされているか。また、長居公園のポテンシャルを活かした独創性豊かなものや公園利用者の新たなニーズを掘り起こすような魅力あるものとなっているか。周辺地域ひいては都市全体の活性化につながるものとなっているか。	A	長居陸上競技場では未就学児でも安全にピッチ上で遊ぶことができる「芝生開放Day」の実施や、屋台やキッチンカー、セレッソ大阪やレッドハリケーンズ大阪とのコラボ企画、キャラクター等が開催され、普段は入ることができない長居陸上競技場の天然芝を盆踊り会場とした「スタばん」を実施する等、長居公園のコンセプトを踏まえ、長居公園のポテンシャルを活かした独創性豊かなイベントを実施していた。また、相撲場の移設により新設した芝生の広場を活用し、令和4年から年4回実施している天体観測を通じて学びと自然を楽しむ「芝生でキラキラ天体観測」や子供たちが芝生で自由に遊べるよう、無料のアクティビティの提供や飲食・物販の販売などを展開した「Grass Fes」、地元連合町会と協力したハロウィンイベント等を実施し、地域の交流促進を図っていた。自由広場ではビーフレス等のイベントを実施し、スケートボードパークではスケートボードに関するイベントを実施することで、子どもから高齢者まで幅広い世代の方がスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる公園という長居公園の特性を踏まえた取組みがなされていた。また、50周年を迎えた長居植物園・大阪市立自然史博物館の記念事業としてセレモニーポジウムやスタンプラリーを実施した。長居陸上競技場や大阪市立博物館等の他の施設とも連携しながらイベントを実施することでそれぞれの施設にとどまらず長居公園全体、周辺地域の活性化に向け取り組んでおり、大変評価できる。
	事業計画の達成度	提案事業の実現に努め、事業計画に沿った事業が実施されているか。	B+	ハード整備においては公園南西のエントランス広場での飲食店のオープンや既存の立木を活かし整備を実施したアスレチック施設「ポウケンノモリNAGAI」、スケートボードパークの設置を始めとし、一時植物園を閉園し大規模リニューアルを実施する等、提案の実現に取り組んだ。公募時の提案事業については令和6年までの間に概ね実現させることができていると評価できる。
収益の再投資	魅力向上事業で得た収益を長居公園の利便性や利用者サービスの向上、さらなる魅力向上に積極的に活用しているか。	B+	さらなる園地のみどりの魅力向上を目指し、園地全体を2.2のエリアに分けて魅力化構想を立て、大阪市との調整を行いながら順次整備を行ってゆく、「みどりの再興プロジェクト」の足掛かりとして北東エントランスの整備を実施し、長居公園内のトイレ改築に向けた協議を開始する等、魅力向上事業の収益を利便性やサービスの向上、さらなる長居公園の魅力向上に積極的に取り組んでおり、評価できる。	
	項目評価		A	ハード整備においては長居植物園の大規模リニューアルをはじめとして、南西エントランス広場の整備や相撲場の移設、スケートボードパークの設置等を実施し、積極的に公園の魅力向上に取り組んでおり、大変評価できる。また、ソフト事業においてはイベントやマルシェ等を数多く実施し、長居公園内の各スポーツ施設とも連携した「芝生開放Day」や「スタばん」を実施し、長居公園のコンセプトを踏まえた生活の質の向上と健康長寿に資するための取組みがなされており、大変評価できる。今後にもぎわい創出や公園及び各施設利用者の利便性向上等による長居公園のさらなる魅力向上となる取組みに期待する。

評価項目	評価の視点	評価	評価内容
管理経費の縮減	収支の健全性		収支状況は健全なものとなっているか。
	管理経費の縮減	B	原材料価格、エネルギーコストの上昇や労務単価、最低賃金の上昇に伴い年々支出は増加しているものの、経費削減に取り組んでおり大阪市への利益配分までには至らないが、収支は概ね健全であるといえる。
	項目評価	B	場内のLED化や休憩室、トイレの無用電灯消灯、剪定枝のチップ化によるマルチング利用等を実施し、令和6年3月にはOsaka Metroと共同での取組として長居駅地下からの湧水を長居公園内のトイレの排水や中央広場の芝生等の灌水として利用することで、環境に配慮した経費削減に努めていた。
		B	大阪市への利益配分までは至らなかったが、環境保全にもなる経費削減の取り組みを進めており、評価できる。

評価項目	評価の視点	評価	評価内容
社会的責任・市の施策との整合	環境保全	B+	競技場コンコースや諸室、トイレ照明等のLED化を実施し、一般園地巡視用として電気自動車を導入することでエネルギー削減に努めていた。また、競技場トイレへの節水弁取付や長居プールへの節水器具の設置を実施し、節水に取り組んでいた。令和4年度には植物園の大池の美観向上を目的として、水質浄化ユニットによる微細な泡とバクテリアを使用した水質浄化装置を導入し、大池のCOD(化学的酸素要求量)は30.4mg/Lから22.0mg/Lへと改善している。加えて、資源循環型社会の実現を目指し、植物園バックヤードにバイオコンポスターを設置し、レストランやカフェで発生した食品残渣及び競技場で刈り取った芝、園内の落ち葉を微生物により堆肥に変換し、植物園内の花壇や樹木への堆肥として利用するほか、Osaka Metroと共同による取組みとして、長居駅地下から湧き出ている湧水を浄化プラントで浄化し、その水を植物園内池の水質向上やトイレの排水用として有効活用する等、環境保全への配慮がなされており評価できる。
	就職困難者雇用	B-	長居わくわくパークプロジェクトチームにおいて一部構成企業で障がい者雇用率の改善はみられるものの、達成できていない。今後は達成できるよう取り組まれたい。
	個人情報等の取組み	B	個人情報保護責任者を設置し、個人情報が記載されている書類は鍵のかかる棚に保管し、開館時間外は施錠を実施、個人情報を含む電子データについてはパスワードで管理しているパソコンでのデータ管理を行うなど、適正な個人情報保護対策が取られていた。
	職員研修等	B	人権や情報セキュリティ、ハラスメント防止に配慮した研修等を実施しており、取り組みが適正に行われていた。また、認知症サポーター養成講座やプール監視研修、水泳指導研修等、施設の特性上必要となる専門研修も実施していた。
	項目評価	B	社会的責任・市の政策との整合性については、概ね適正に取り組んでおり、評価できる。

総合評価	B+	<ul style="list-style-type: none"> ・公募時の提案事業については、令和6年までの間に概ね実現させることができおり、ハード整備では長居植物園の大規模リニューアルをはじめとして、南西エントランス広場の整備や相撲場の移設、スケートボードパークの設置等を実施し、ソフト事業においてはイベントやマルシェ等を数多く実施し、長居公園内の各スポーツ施設とも連携した「芝生開放Day」や「スタぼん」を実施し、積極的に公園の魅力向上に取り組んでおり、大変評価できる。今後もにぎわい創出や公園及び各施設利用者の利便性向上等による長居公園のさらなる魅力向上となる取り組みに期待する。 ・長居植物園や長居公園地下駐車場、長居ユースホステル、花と緑と自然の情報センター等の公園施設並びに長居陸上競技場や長居第2陸上競技場等のスポーツ施設では適正な管理運営がなされていた。
------	----	--

評価	基準
S	事業計画又は本市の定める水準の想定を大幅に上回る効果が得られた。
A	事業計画又は本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた。
B+	おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られており、評価すべき良点が認められる。
B	おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られた。
B-	おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られたが、工夫の余地があると認められる。
C	事業計画又は本市の定める水準で想定した効果が得られていない。